

✦ 県教育委員会賞 ✦

●研究テーマ

東尋坊の地形の成り立ちを考える

👑 福井大学教育学部附属義務教育学校9年生

代表 田中 美月 吉川 潤

動機

5月に学校で、東尋坊で地質調査のリトルティーチャー(ガイド役)をするために、下調べに行った。そして東尋坊の地質を知るうちに、成り立ちについて興味が湧いてきたので2人で調べてみることにした。

内容

まず、東尋坊周辺を3つの地点(二の浜、福良浜、松島)に分けてそれぞれの地点の特徴を基本知識としてまとめた。

そして「二の浜の石の分布」が東尋坊の成り立ちと関係があるのではないかと思ったので計測をした。

計測結果は、二の浜は大きく分けると、2種類の石でできていて、地点①の方には、凝灰岩が多く、地点④の方には安山岩が多いことが分かった。その結果から、なぜ、二の浜の中で、石の分布が異なるのか気になったので考えてみることにした。昨年の先輩方の集めたデータも借りて、一年間での石の分布の変化について考えた。全部で3年にまたがるデータを台風の通過に注目して考えた。台風の通過回数は一年ごとに異なっていたため、数が多い方が分布に変化が見られるかと思ったがそうでもなかった。

まとめや感想

今回の研究は、生徒が教師役(ガイド役)になるという附属ならではの「リトルティーチャー」あってこそこの研究である。人に何かを教える時は自分の言葉に責任を持つ必要があった。そのための下調べもたくさんした。

来年も計測をして、今後の変化から二の浜の成り立ちについて迫りたい。

最後に御世話になった大学の先生方、御指導頂いた先生方、計測をしてくれた学年のみなさんに感謝したい。